湖南高校だより

湖南の魅力、全開

そばの種まきを終えて一枚。地域の方々にはお世話になりました。

地域ミライ探究本格化

A班そば六次化

九月二日（木）の探究授業では、五月の試作と七月のプレゼンテーションで頂いた助言をもとに、改良したレシピで再度試作を行いました。生徒だけの力では行き詰まるところも出てきましたが、そこはコミュニティ・スクール！「地域の方の力を借りよう」ということで、特別講師として湖南町舟津の太田屋菓子店の樋口弘さんにご協力頂きました。

生徒も講師の樋口さんも真剣です！

協同作業で試作した結果、そばケーキはそばの実を加えることでより美味しくなり、そば団子は「蒸す」工程や「二度つき」の工程を取り入れたことで、以前より柔らかく仕上げることができました。樋口さんの手際の良さは流石の一言で、生徒たちは真剣な表情で手元を観察していました。今回学んだ点と反省点を活かし、A班は完成に向けて進んでいきます。

プロの作業スピードは圧巻の一言。生徒たちは釘付けになっていました。

B班古民家再生

同じく九月二日（木）のB班の活動は、自分たちで解体・改修してきた古民家に設置する「テーブル作り」でした。今回は講師として日本大学工学部の高坂玲音さんにご協力頂き、ネジ打ち、やすりがけ、ニス塗りをしていきました。使い慣れていないインパクトドライバーや紙やすりなどに戸惑っていたのはほんの数分でした。恐れず作業をこなしていき、二時間の授業内で二つの机を完成させることができました。生徒たちは「これでDIY（日用大工）もできる」「早く古民家に並べたい」とやり遂げた表情で話し合っていました。B班の次の課題は「イス作り」です。今回身につけた技術を生かして、古民家を彩る様々な成果物を作っていきます。

インパクトドライバーを使って、テキパキと天板を組み立てていきました。

ねじ打ちをし、脚部パーツにまんべんなくニスを塗りました。

そばの種まき

七月三十日（金）「蕎麦プロジェクト」の第一弾として、そばの種まきを行いました。当日は学校運営協議会会長の小山伝一郎さん、同窓会会長で「アジアGAP」認証のそばを栽培している桑名秀一郎さん、福良地区認定農業者の阿部敏満さんを中心に、多くの方々にご参加頂きました。雨天が心配されていましたが、午後になると見事なそばの種まき日和となりました。一年生は「そばの種まき」が初体験でしたので、小山さんより「そば栽培とそばの魅力」について説明を受けると、しきりに感心していました。その後「そばファーム」に移動し、参加者全員が一列に並んで準備は完了。桑名さんと阿部さんのご指導のもと、生徒たちは紙コップに入った種を一握りずつ丁寧にまきながら、元気よく畑を往復しました。二学期からは「そばの生育観察」を全校生が交代で行っています。当番の生徒とそばの様子が日々更新されていますので、ぜひ学校ホームページをご覧下さい。

１年生はそばの種をおっかなびっくりまいていました。

２学期からは生徒たち主体で毎日そばの生育観察をしています。この日は晴れました！

発行
福島県立
湖南高等学校
校長酒井祐治

校訓

誠実　勤勉
志高　聡明
自律　協同

中高合同湖岸清掃

九月六日（月）、湖南七浜の湖岸清掃を行いました。湖南高校と湖南小中学校の合同での実施はおよそ十年ぶりとなります。開会式では両校の校長先生から挨拶を頂いた後、バス二台で各浜に行きました。湖南小中学校からは七・八・九年生（中学生）が参加し、本校生と協力しながら清掃しました。始めは互いに緊張が見られましたが、高校生が中学生をリードする形で連携をとり、あっという間にゴミを集め終わりました。最後は浜ごとに集合写真を撮影！来年も両校合同での実施ができることを楽しみにしています。

湖南小中学校と湖南高校の生徒たち。協力しながら猪苗代湖岸を掃除しました。

中学生一日体験入学

七月二十六日（月）に中学生一日体験入学を行いました。全体説明会では、参加した市内の中学生に対してタブレットを使いながら、湖南高校の魅力などを説明しました。その後の模擬授業では個性あふれる先生方の授業を受講し、施設案内・部活動見学では練習風景の見学や体験活動をするなど、湖南高校ならではの良さを感じてもらいました。行事終了後は地域探究部（通称そば部）の打ったそばの試食もあり、中学生たちは笑顔でこの行事を楽しんでいました。皆さんと会えるのを湖南高校でお待ちしています。

湖南高校といったら「そば打ち」。中学生たちはそば部の手際の良さに驚いていました。

体育祭（球技大会）

七月十九日（月）に球技大会が開催されました。今回の実施競技は、卓球、バドミントン、バレーボールです。これから始まる戦いに向けて緊張した表情で開会式に臨んだ生徒たちでしたが、オリンピックのユニフォームに身を包み、聖火リレーのトーチを持って入場した酒井校長先生の姿を見ると、体育館は笑顔に包まれました。校長先生のお話のあと、三年生の代表二名が選手宣誓を行いました。この日まで、体育の時間だけでなく昼休みや放課後、休日にも練習をしてきた生徒もいて、各会場とも熱戦が繰り広げられました。全力で取り組んだこの経験が、きっとみなさんの将来に活かされていくことでしょう。

選手宣誓。生徒の前に立つ校長先生は聖火ランナーユニフォーム姿。その手にはトーチ。

祝優勝 ボート部

九月二十六日(日)、第五十五回県高校新人体育大会ボート競技が喜多方市の県営荻野漕艇場で開催されました。本校から出場した部長の二年諸橋俊輔君（郡山六中出身）が男子シングルスカルにて見事優勝を勝ち取り、東北大会出場権を獲得しました。大会結果について、諸橋君は「昨年の冬から行っているウェイトトレーニングや体力作りが優勝できた大きな要因だと思います。でも、目標はあくまで全国大会入賞なので、自分の課題を乗り越えていけるよう頑張ります。」と意気込みを聞かせてくれました。次は十月十五、十六日に宮城県登米市で開かれる第三十六回東北高校選抜ボート大会です。応援よろしくお願いします。

優勝した諸橋俊輔君（前列中央）

編集後記

九月十日（金）、本校のコミュニティ・スクールの特色を生かした初めての取り組みとして、湖南の方々に面接指導をして頂きました。生徒たちは地域の方々を前に緊張している様子でしたが、一つ一つの質問に自分の言葉で答えていました。面接後は講師の方々から温かいお言葉を頂き、生徒は本番前の不安を自信に変えることができました。ありがとうございました。今後とも温かい応援とお力添えをお願い致します。

猪苗代子

地元の方々にご協力頂き、３年生の就職面接の練習を初めて行いました。

KONAN

猪苗代湖と磐梯山をモチーフにしたこのロゴは、校内の『湖南町のロゴを勝手につくっちゃお』企画で選ばれた作品です。今後、湖南町の諸機関と共有し、町の振興に活用していきたいと思っています。ご賛同頂ける方は、どうぞ湖南高校までご連絡下さい。

湖南高校まるわかりの近道、学校ホームページは常時更新しています。下記のQRコードからご覧下さい。